

資料1 各国の主要な核戦力

	米 国	ロ シ ア	英 国	フ ラ ン ス	中 国	
ミ サ イ ル	ICBM (大陸間弾道ミサイル)	550基 ミニットマンⅢ型 500 ピースキーパー 50	508基 SS-18型 80 SS-19型 126 SS-25型 254 SS-27型 48	—	—	46基 DF-5 (CSS-4) 20 DF-31 (CSS-9) 6 DF-4 (CSS-3) 20
	IRBM MRBM	—	—	—	—	35基 DF-3 (CSS-2) 2 DF-21 (CSS-5) 33
	SRBM	—	—	—	—	725基
ル	SLBM (潜水艦発射弾道 ミサイル)	432基 トライデントC-4型 120 トライデントD-5型 312 (弾道ミサイル搭載原 子力潜水艦14隻)	252基 SS-N-18型 96 SS-N-20型 60 SS-N-23型 96 (弾道ミサイル搭載原 子力潜水艦15隻)	48基 トライデントD-5型 48 (弾道ミサイル搭載原 子力潜水艦4隻)	64基 M-45型 64 (弾道ミサイル搭載原 子力潜水艦4隻)	12基 JL-1 (CSS-N-3) 12 (弾道ミサイル搭載原 子力潜水艦1隻)
	長距離 (戦略) 爆撃機	114機 B-2 19 B-52 94	79機 Tu-95 (ベア) 64 Tu-160 15 (ブラックジャック)	—	—	—

(注) 資料は、ミリタリー・バランス (2008) などによる。

資料2 主要弾道・巡航ミサイルの性能諸元

区 分	国 別	名 称	最大射程 (km)	弾頭 (威力)	誘導方式	備 考
ICBM	米 国	ミニットマンⅢ	13,000	MIRV (170KT又は335~350KT又は 300~475KT×3)	慣 性	固燃3段
		ピースキーパー	9,600	MIRV (300~475KT×10)	慣 性	固燃3段
	ロ シ ア	SS-18	10,500~ 16,000	MIRV (1.3MT×8、500~550KT×10又は 500~750KT×10) 又は単弾頭 (24MT)	慣 性	液燃2段
		SS-19	9,000~ 10,000	MIRV (500KT×6 又は500~750KT×6)	慣 性	液燃2段
		SS-25	10,500	単弾頭 (550KT)	慣 性 + コンピュータ制御	固燃3段
	ア	SS-27	10,500	単弾頭 (550KT)	慣 性 + Glouass	固燃3段
	中 国	DF-5 (CSS-4)	12,000~ 13,000	単弾頭 (4 MT) 又はMIRV (150~350KT×4~6)	慣 性	液燃2段
DF-31 (CSS-9)		8,000~ 14,000	単弾頭 (1 MT) 又は MIRV (20~150KT×3~5)	慣 性 + 天 測	固燃3段	
SLBM	米 国	トライデントC-4	7,400	MIRV (100KT×8)	慣 性 + 天 測	固燃3段
		トライデントD-5	12,000	MIRV (100KT又は475KT×8)	慣 性 + 天 測	固燃3段
	ロ シ ア	SS-N-18	6,500~ 8,000	単弾頭 (450KT) 又は MIRV (500KT×3 又は100KT×7)	慣 性 + 天 測	液燃2段
		SS-N-20	8,300	MIRV (200KT×10)	慣 性 + 天 測	固燃3段
		SS-N-23	8,300	MIRV (100KT×4)	慣 性 + 天 測 + コンピュータ制御PBV	液燃3段
	英	トライデントD-5	12,000	MIRV (100~120KT×8)	慣 性 + 天 測	固燃3段

区分	国別	名称	最大射程 (km)	弾頭 (威力)	誘導方式	備考
SLBM	仏	M-45	5,300	MRV (100KT×6)	慣性 + コンピュータ制御	固燃3段
	中国	JL-1 (CSS-N-3)	2,150~2,500	単弾頭 (20~500KT)	慣性 + GPS + レーダー	固燃2段
IRBM MRBM	中国	DF-3 (CSS-2)	2,400~2,800	単弾頭 (3MT)	慣性	液燃1段
		DF-4 (CSS-3)	4,750	単弾頭 (3MT)	慣性	液燃2段
	国	DF-21 (CSS-5)	2,150~2,500	単弾頭 (20~500KT) HE、化学、EMP、子弾	慣性 + GPS + レーダー	固燃2段
SRBM	中国	DF-11 (CSS-7)	280~530	単弾頭 (2KT~20KT)	慣性 + GPS + 終末誘導	固燃1段
	国	DF-15 (CSS-6)	600	単弾頭 (90KT)	慣性 + 終末誘導	固燃1段
巡航 ミサイル (長射程)	米国	トマホーク (TLAM-N)	2,500	単弾頭 (200KT)	慣性 + 地形照合	海上/ 海中発射型
		AGM-86B	2,500	単弾頭 (200KT)	慣性 + 地形照合	空中発射型
巡航 ミサイル (長射程)	ロシア	SS-N-21	2,400	単弾頭 (200KT)	慣性 + 地形照合	海中発射型
		AS-15	2,500~3,500	単弾頭 (200~250KT)	慣性 + 地形照合	空中発射型

(注) 資料は、「ジェーン戦略兵器システム」などによる。

資料3 主要国・地域の兵力一覧（概数）

陸上兵力		海上兵力			航空兵力	
国名など	陸上兵力 (万人)	国名など	トン数 (万トン)	隻数	国名など	作戦機数
中国	160	米国	556.2	950	米国	3,940
インド	110	ロシア	201.9	1,030	中国	2,820
北朝鮮	100	中国	117.1	860	ロシア	2,170
パキスタン	55	英国	89.6	240	韓国	620
韓国	54	フランス	42.5	260	北朝鮮	590
米国	52	インド	35.5	150	シリア	580
ベトナム	41	インドネシア	23.4	190	インド	570
トルコ	40	トルコ	21.9	200	エジプト	550
ロシア	40	台湾	20.7	330	台湾	530
ミャンマー	38	ドイツ	20.3	130	トルコ	500
イラン	35	スペイン	19.1	100	フランス	500
エジプト	34	イタリア	17.4	170	イスラエル	400
ブラジル	24	オーストラリア	15.6	80	パキスタン	380
インドネシア	23	ブラジル	15.6	90	リビア	380
コロンビア	22	韓国	15.3	180	英国	370
日本	13.8	日本	43.7	150	日本	440

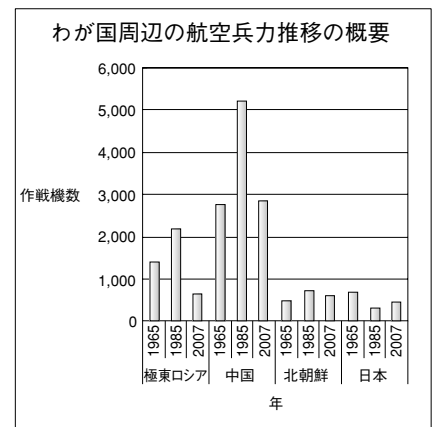
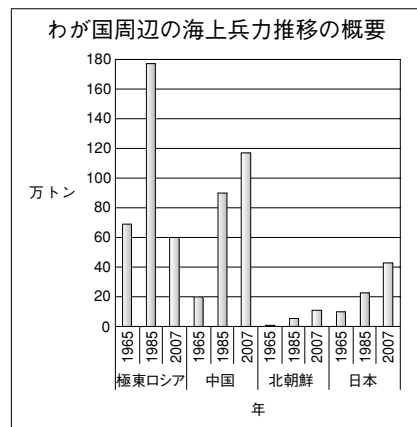
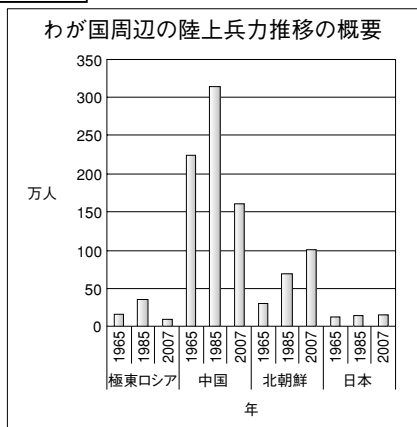
- (注) 1 資料は、陸、空については「ミリタリー・バランス (2008)」など、海については「ジェーン年鑑 (2007～2008)」などによる。  
 2 日本は、平成19 (2007) 年度末における各自衛隊の実勢力を示し、作戦機数は航空自衛隊の作戦機 (輸送機を除く。) 及び海上自衛隊の作戦機 (固定翼のみ) の合計である。  
 3 配列は兵力の大きい順になっている。

資料4 主要国・地域の正規軍及び予備兵力（概数）

国名など	兵役制	正規軍 (万人)	予備兵力 (万人)	
米国	志願	150	108	
ロシア	徴兵	103	2000	
英国	志願	18	20	
フランス	志願	25	3	
ドイツ	徴兵	25	16	
イタリア	志願	19	4	
インド	志願	129	116	
中国	徴兵	211	80	
北朝鮮	徴兵	110	65	
韓国	徴兵	69	450	
エジプト	徴兵	47	48	
イスラエル	徴兵	18	57	
日本	志願	陸	13.8	3.2 (0.6)
		海	4.4	0.09
		空	4.5	0.08

- (注) 1 資料は、「ミリタリー・バランス (2008)」などによる。  
 2 日本は、平成19 (2007) 年度末における各自衛隊の実勢力を示す。( ) 内は即応予備自衛官の現員数であり、外数。  
 3 ロシアは、徴兵制から契約勤務 (一種の志願制) への移行を優先課題としている。

資料5 わが国周辺の兵力推移の概要



- (注) 資料は、当該年版のミリタリー・バランスなどによる (日本は、当該年度末実勢力)。